

《 馬 道 地 区 町 会 連 合 会 》

日時：11月11日（木） 午後3時から（会 場：台東区民会館）

◇新型コロナウイルスワクチン接種済証の活用について

質問	回答	対応
<p>台東区では5月下旬から高齢者に対するワクチン接種が開始されました。近隣の区と比べると開始が遅かったようですが、その後は接種も順調に進み安心しています。</p> <p>そして、2回目の接種終了時には、ワクチン接種済みのシールを貼った接種済証が配付されています。</p> <p>国の方でも、行動制限緩和の方針が示されましたので、この接種済証を活用し、接種済証を提示された方については、区内の飲食店や居酒屋などでの利用制限を緩和し、さらに、接種済証を提示した方に何か特典のあるサービスを提供するお店を区がホームページで紹介し、補助するなど支援を行ってはいかがでしょうか。</p> <p>区内経済の活性化につながると思いますので、区のお考えをお聞かせください。</p>	<p>国は、9月の「新型コロナウイルス感染症対策本部」において、「ワクチン接種が進む中における日常生活回復に向けた考え方」として、行動制限緩和の方針を示しました。</p> <p>その中でも示されている、第5波のような医療の逼迫による影響を回避し、区民の皆さまの安全安心を確保できれば、感染対策と地域経済活動を両立させることが可能であると考えています。</p> <p>一方、接種証明の活用として、東京都では飲食店での割引や、様々な特典が提供される「TOKYOワクションアプリ」を開始し、国ではワクチンパスポートの電子化など「接種証明アプリ」の運用を12月から開始する準備をしています。</p> <p>今後の国や東京都の動向などを注視しながら、区としてどのような取り組みができるか考えてまいります。</p>	—

◇キャッシュレス決済について

質問	回答	対応
<p>台東区では、本庁舎や区民事務所の窓口での手数料等の支払いにキャッシュレス決済が導入されました。区民サービスや利便性の向上という点で、素晴らしい取り組みだと思えます。</p> <p>そこで、制度の内容と現在の利用状況についてお聞かせください。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の対策として、現金を触らずに決済が行えるキャッシュレス決済を令和3年3月より導入しました。</p> <p>現在、住民票の写しや税証明取得に関わる証明書交付手数料、文化施設の入館料について、クレジットカードやSuica、PASMO、PayPayなど、幅広い種類の決済でキャッシュレスに対応しています。</p> <p>また、スマートフォンなどのアプリを使用して税や保険料のお支払いができるようになり、さらに、12月からはご自宅等から施設使用料をクレジットカードでお支払いすることができるよう、公共施設予約システムのオンライン決済を導入します。</p> <p>利用状況については、一部の文化施設では利用率が20%を超えていますが、全体としては10%程度で周知が足りないと思われるため、引き続き案内していきます。</p> <p>今後も区民の皆さまの利便性向上のため、キャッシュレス決済を推進してまいります。</p> <p>※令和3年12月、公共施設予約システムのオンライン決済を開始しました。また、利用率向上のため、窓口での分かりやすい掲示とともに、区公式ホームページや区公式Twitterで周知しました。（情報政策課）</p>	<p>—</p>

◇防災訓練について

質問	回答	対応
<p>東日本大震災の発生から今年で10年となり、あらためて防災意識の向上が必要と考えています。</p> <p>区では昨年、町会に対するアンケート調査を実施され、総合防災訓練の見直しを行いました。今後は町会向けにどのような防災訓練を実施していく予定ですか。</p> <p>区としてのお考えをお聞かせください。</p>	<p>総合防災訓練を見直し、当面の間は避難所の開設、通信訓練など発災時の初動対応を強化することを目的として、区・避難所運営委員会・関係機関が合同で総合防災訓練を実施します。</p> <p>区民の方を対象とした初期消火訓練や地震体験については、町会主体で行う町会単位防災訓練で実施し、町会の要望に応じて職員を派遣し、起震車体験訓練や防災出前講座を実施してまいります。</p> <p>さらに、例年3月に実施している防災フェアでは、防災意識の啓発として、消防・警察・水道局をはじめとした防災機関の展示・体験を実施していく予定です。</p> <p>今後も町会の皆さまや関係機関と連携をとり、訓練を行うなど防災意識の向上を図ってまいります。</p>	<p>—</p>

◇コロナ禍における経済支援について

質問	回答	対応
<p>馬道地区は、ひさご通り周辺と千束通り、浅草寺裏を中心に、飲食店や料亭、居酒屋などが点在しています。また、地場産業である皮革製品を扱う事業所も数多くあります。</p> <p>しかし、昨年からの新型コロナウイルス感染拡大による営業時間の短縮要請により、飲食店などでは客足の減少に苦しんでいます。また、外出の自粛により人々の行動範囲が狭まり、皮革関係の店でも製品が売れないなど、経済活動が停滞しています。</p> <p>そこで、区内の活性化のための台東区独自の経済的支援策についてお考えをお聞かせください。</p>	<p>区では、中小企業者の返済負担の軽減を目的とした「新型コロナウイルス感染症対策借換特別資金」の融資や、業況が悪化した事業者に資金繰りを支援する「経営持続化特別資金」を実施しています。また、国や都の補助金等に関する相談に応じる「特別相談窓口」のほか、中小企業診断士が経営相談を行う「緊急経営相談ダイヤル」を開設しています。</p> <p>また、Instagramを活用し、区内事業者の感染予防の取り組みを紹介するとともに、事業者のアカウントの存在を広く伝える目的で「#たいとう愛」を運用しており、講習会などを通じて区内施設・事業者の感染対策を支援し、安全に観光ができる環境を整えています。</p> <p>さらに、江戸をはじめとした歴史・文化をテーマとした学習型旅行商品や、地場産業の体験型旅行商品等を企画・開発し、販売ルートに乗せることで広く地域資源の周知を図れるよう旅行会社と連携協定を結びました。</p> <p>今後も感染状況等を鑑み、地域の経済支援と感染拡大防止を両立させた取り組みを実施してまいります。</p>	<p>○</p>